

2012年度

事業報告書

公益財団法人都市活力研究所

事業の状況

【公益事業1】

産学官の交流連携を促進するとともに人材育成、教育研修を実施することで、産業を振興し、地域社会の活性化を図る事業

1. バイオ・ライフサイエンス分野におけるシーズを育成する事業

(1) バイオ・ライフサイエンス分野におけるシーズ育成（相談、助言）

創薬シーズ、創薬基盤技術に対する評価を製薬企業などの専門家がを行い、研究開発の方向性についてアドバイスすることによる産学官の交流・連携の促進を支援するため、大阪医薬品協会の協力により「創薬シーズ相談会」を計6回実施した。2012年度から(独)医薬基盤研究所が助成したシーズについては同研究所との共催として開催している。

開催日	シーズタイトル	シーズ相談者
5月17日	癌治療薬としての放射線増感剤 SQAG の開発	東京理科大学 教授 坂口謙吾氏
7月20日	皮膚内溶解型マイクロニードルを用いた経皮ワクチン製剤	大阪大学大学院薬学研究科 教授 中川晋作氏
9月10日	薬剤排出を抑制する薬剤	大阪市立大学大学院理学研究科 准教授 藤田憲一氏
12月26日	炎症関連疾患の新規治療薬の開発	大阪大学医学系研究科 准教授 谷山義明氏
1月9日	生体内貼付型 薬剤封入 PLGA ナノ粒子 分散シート製剤	ホソカワミクロン株式会社
2月28日	骨がんと疼痛を同時に抑える新規白金抗がん剤 およびシスプラチンをプロドラッグとする新作用・低副作用新規白金・パラジウム抗がん剤	金沢大医薬保健研究域薬学系 教授 小谷 明氏

2. 超高性能科学計算資源の産業利用を促進するための策を調査する事業

(1) 超高性能科学計算資源の産業利用促進策の調査（調査、資料収集）

2013年度に大阪大学が「うめきた」に次世代スパコン「京」と産業界をつなぐアクセスポイントを設置する予定であるが、ここでインシリコ創薬(スパコンなどコンピュータを活用した創薬)に関する様々な情報の提供・各種相談・コンサルティングなどができる拠点づくりを目指している。今年度は、トライアル事業としてNPO 法人バイオグリッドセンター関西と協力し、インシリコ創薬に関する相談会、講習会などを9回実施した。

(2) 創薬分野におけるスーパーコンピュータの利用促進に関する調査研究（調査、資料収集）

2012年度より本稼働をはじめたスパコン「京」に設定された産業利用枠を使って独立行政法人理化学研究所の募集する「HPCI システム利用研究課題」に NPO 法人バイオグリッドセンターが応募した結果、採択され「京」の計算時間の無償利用が可能となった。これを利用して製薬企業 10 社、IT 企業 2 社、京大、産総研などとともに、標的蛋白質と膨大な数の薬の候補物質との相互作用を計算し、候補を絞り込むプロジェクトを推進中である。

3. 新技術、新サービスの実現を加速するための事業

(1) 実証実験プロジェクトの支援（相談、助言、コンサルティング）

ホームページにて事業概要の案内を行うほか、開発実証の実施者や支援協力者、街の施設所有者や開発事業者、サービス事業者等の実証実験プロジェクトに係る方々を対象として後述のアーバン・イノベーション・セミナー「大阪・梅田における ICT を活用した街サービスの開発実証」の主催や大阪市主催のセミナー&マッチング1回・研究会5回から構成される「アクティブシティフォーラム」への共催を行い、その中で助言・相談の募集案内を行ってきた。

その結果、屋内位置測位(1件)、デジタルサイネージ(1件)の合わせて2件の相談・助言を行った。

4. 技術革新や新たな価値創造を支える人材の育成及び人的ネットワークのあり方について調査を行う事業

(1) オープン・イノベーション・モデルを支える専門的人材育成及び人的ネットワーク形成方策に関する調査（調査、資料収集）

ICT 分野においては、大阪地域と北米との連携等を例として、オープン・イノベーション・モデルの基盤となる国際的な地域間連携のあり方に関する調査を実施した。具体的には、産業界メンバーの参加による勉強会、セミナーの定期的な開催を中心として、次のような調査等活動を実施した。

○ベンチャーキャピタル等との連携

在阪あるいは関西で活動を展開しているベンチャーキャピタル、金融企業、公認会計士等と研究会を組成し、投資の現況や今後の見通し、起業環境として整備すべき事項について国際事例研究を交えながら意見交換を実施した。

○ベンチャー支援ネットワークの拡大

ベンチャーの育成、支援活動や関西のグローバル化を展開している公的団体の諸活動と連携を図り、セミナー、研究会等のプロジェクトの共同企画を契機としてベンチャー

支援やグローバル化のためのプラットフォームの構築、強化を図った。具体的には、次のような団体との連携である。

- ・ 大阪商工会議所DCP(情報家電ビジネスパートナーズ)
- ・ O-BIC(大阪外国企業誘致センター)
- ・ IBPC(大阪国際経済振興センター)
- ・ さかいIPC(公益財団法人堺市産業振興センター)
- ・ S-CUBE(株式会社さかい新事業創造センター)
- ・ 駐大阪神戸米国総領事館
- ・ 英国総領事館

○ジョブスタディ・コラボ・かんさい

昨年に引き続き7月より11月末までの4ヶ月間、次代の産業界を担う若手育成として、近畿経済産業局、ジョブスタディ(企業コンソーシアム)と連携し、大学生向けイベントとして講演会&座談会、隔週で自己分析のためのグループ・ワーキングを実施した。

○エコビジネス研究会

アントレプレナーシップ涵養を目指した高度な産業人材の育成方策に関する実証的な取り組みとして、大阪大学大学院高度人材育成センターと共催で、6月より11月まで毎月1回、環境ビジネスをキーワードにしたビジネス研究会を実施した。

○シリコンバレー起業環境等調査

8月6～10日に、シリコンバレーのインキュベーションセンター、企業、大学等を訪問し、起業環境等についての調査を実施し、帰国後、ベンチャー等を対象に、報告会を実施した。

○jannovation westの開催

起業家マインドの醸成と起業を支援する環境構築を検証するために、(株)サンブリッジグローバルベンチャーズと共催で7月11日、「jannovation west」を開催した。

(プログラム)

Key Note : MOVIDA JAPAN株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 孫泰蔵氏

「世界と勝負するアントレプレナーの資質」

Panel Discussion : 孫泰蔵氏

シナジーマーケティング株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 谷井等氏

株式会社 サンブリッジ グローバルベンチャーズ 代表取締役社長 平石郁生

Pitch Contest : ビジネスプランの発表と審査

Networking Party

また、バイオ分野においても、医薬・創薬に関わるオープン・イノベーションの在り方に関わる調査を実施した。具体的には以下の2事業である

○バイオメディカルシンクタンク

創薬や医療分野に特化したオープン・イノベーション・モデルの導入促進のための専門的な研究会を主宰し、上期は産学連携および創薬支援のための拠点形成に向けた活動のあり方等について月例での討議を行った。また、創薬支援拠点の必要性の議論および製薬業界における創薬に関しての問題点や次世代の創薬のあり方を探るため、3月21日開催の日本バイオインフォマティクス学会のシンポジウム(第14回バイオメディカル研究会)にて、大阪医薬品協会の協力のもと製薬企業5社の研究者を招へいしパネルディスカッションを企画、百名を超える参加者があり、活発な情報交換を行った。

○バイオビジネス研究会

バイオ技術のみならず法律や知財、海外取引等の契約など、経営に必要な知識とスキルの習得を目的としたセミナーを試験的に実施し、医薬品分野における高度なグローバル人材育成のあり方に関する実践的な研究を行った。弁護士、会計士、弁理士および医薬品企業の経営者を講師として、計10回の実践的な研究会を開催した。

5. 産業を振興するための教育及び社会の産業界への理解を深めるため啓蒙を図る事業

(1) セキュア・ネットワークセミナーの開催(講座、セミナー、育成)

今後のセミナー開催の方向性について大阪大学サイバーメディアセンターと協議の上、目的に沿った最適なプログラム内容について検討中である。

(2) OACIS(オアシス)セミナーの開催(講座、セミナー、育成)

大阪大学の産学連携の取り組みであるIT連携フォーラムOACISの社会人向けの教育・研修事業の運営支援を行い、情報ネットワークに関する講座を開催した。

① 基本技術編「情報ネットワークの基本技術」

実施日	第一講	第二講	参加
8月24日	コンピューターネットワーク入門	ネットワークサービス概論	34名
8月31日	ネットワーク拡張技術 1	ネットワーク拡張技術 2	32名
9月7日	ネットワーク基本技術 1	ネットワーク基本技術 2	24名

② 最新技術展望「ネットワーク編、ソフトウェア工学編」

実施日	第一講	第二講	参加
12月7日	モバイルネットワークサービス概論	モバイルネットワークとアプリケーション	17名
12月10日	新世代ネットワーク	次世代ネットワーク NGN の課題と展望	28名
12月21日	ソフトウェア工学概要	ソフトウェアメトリクスの活用	16名
1月11日	コードクローン検出技術とその応用	プログラムの動的解析	20名
1月18日	ソフトウェアプロセスのモデリングとそれに基づく管理手法	プロジェクト計測とリポジトリマイニング	20名

(3) アーバン・イノベーション・セミナー（産業分野）の企画・開催（講座、セミナー、育成）

産業の活性化に関わる最新の動向を紹介するセミナーとしてアーバン・イノベーション・セミナー（産業分野）を次のように9回開催した。

実施日	タイトル	共催	参加
6月15日	大阪のものづくり技術が世界を変える	ナレッジキャピタルマネジメント	77名
7月10日	That's Silicon Valley Way ～効果的な英語でのプレゼンテーション入門	サンブリッジグローバルベンチャーズ	24名
9月7日	英国におけるモバイル最新動向とTech City	英国総領事館	59名
9月11日	パブリックスピーキング入門～人の心を動かす英語でのスピーチ	駐大阪・神戸アメリカ総領事館	100名
9月28日	大阪・梅田におけるICTを活用した街サービスの開発実証	大阪市都市工学情報センター 大阪市都市型産業振興センター	85名
10月10日	環境ビジネス最前線～ものづくりのまち堺の挑戦～	堺市産業振興センター さかい新事業創造センター	52名
10月31日	シリコンバレー式マーケティングとビジネス	Innovate! osaka	31名
1月29日	George と英語で語り合おう！～シリコンバレーの今、若手ベンチャーのこれから～	サンブリッジグローバルベンチャーズ	37名
1月31日	アメリカの若手起業家式～スタートアップの流儀～	サンブリッジグローバルベンチャーズ	80名

(4) スーパーコンピューティング・コンテストの開催（表彰、コンクール）

大阪大学、東京工業大学との共催により、高校生・高専生を対象にした高いレベルのプログラミング技術を競うコンテストを開催した。本年度は、本選を8月20日～8月24日に開催し、全国から予選を勝ち抜いた21チーム59人が東京会場と大阪会場に分かれて参加。東京工業大学のスーパーコンピュータを用いて課題を解くプログラムを作成し、その解答の正確さ、速さを競った。

【公益事業2】

まちづくりを推進し、都市の活性化を図る事業

1. 新たなまちづくりのあり方についての調査研究（調査、資料収集）

○都心戦略検討会

新たなまちづくりの調査研究として、学識経験者、行政、企業などのメンバーで構成される研究会を開催している。本年度は検討テーマを「大学とまちづくりによる大阪都心の

活性化」と設定し 5 回開催した。今後は、第 6 回の検討会を 4 月以降に開催し、本年度のとりまとめを行う。

第 1 回	都心と大学を考える意義や効果、仮説の検討
第 2 回	大学誘致の事例調査結果と大学の意向把握の状況の報告
第 3 回	都市のエリアイメージと大学進出形態の検討
第 4 回	大学と大阪市から実務者をゲストに迎えてトークセッションを開催
第 5 回	各エリアのケーススタディの検討

2. 都心におけるまちづくりの調査研究（調査、資料収集）

都心におけるまちづくりのあり方についての調査研究のため、次の 3 事業を実施した。

○UII まちづくりレター「まち・つくる通信」

まちづくりに係わる様々な話題や情報をレター形式にとりまとめ、電子メールにより発信した(配信先 約 1,600 件)。また、発行済のレターを今後も広く発信するため、財団のホームページ内の専用ページ「UII まちづくり info」に掲載している。

第 5 号	「関西におけるスポーツ文化の歴史」	6 月発行
第 6 号	「関西におけるスポーツ産業」	7 月発行
第 7 号	「スポーツによる都市の活性化」	7 月発行
第 8 号	「札幌大通まちづくり株式会社の取り組み」	11 月発行
第 9 号	「株式会社まちづくりとやまの取り組み」	3 月発行

○梅田インフォメーション推進検討会

様々な主体が運営する梅田の案内所が連携してサービスの向上を目指す活動を支援している。2011 年度実施した現状把握のためのアンケート調査から浮かび上がった課題に対応するため、解決の方向性の検討や情報収集を行った。全体的な情報の把握と整理が必要なもの(バスのりば案内、鉄道路線図、金融機関など)はマップと詳細情報リストを作成したほか、各施設では把握しているが地域で共有できていない情報(店舗の新規開店など)については、Facebook のグループ機能を使用した情報共有の仕組みを提案した。

○北梅田まちづくり協議会

茶屋町地区の地権者などで構成する協議会の運営支援を行っている。今年度は国土交通省の補助事業である民間まちづくり活動促進事業に応募するにあたって、近畿地方整備局や大阪市に応募要領の確認や取り組みをアピールするなどの側面支援を行い、結果、採択された。また、都市利便増進協定案におけるオープンカフェ検討の参考情報として、公道上で日本初となる新宿モア四番街オープンカフェのヒアリング結果を同協議会に報告した。

3. 郊外住宅地におけるまちづくりの調査研究（調査、資料収集）

○彩都健康スポーツフェスティバル

地域における健康・スポーツの活動の推進についての実践的な調査研究として、彩都地区における健康・スポーツをテーマとしたまちづくりについて、本年度も引き続き彩都(国際文化公園都市)建設推進協議会、アスリート団体とともに取り組んでいる。

6月3日(日)に、新たに開園した彩都西公園にて、彩都健康スポーツフェスティバルを彩都(国際文化公園都市)建設推進協議会主催、公益財団法人大阪府レクリエーション協会・一般社団法人アスリートネットワークと当財団の協力の下で開催し、サッカー教室やスポーツレクリエーション教室に約150名が参加した。

4. まちづくりのセミナー開催（講座、セミナー、育成）

まちづくりセミナーとしては、以下の3件を開催した。

実施日	タイトル・内容	共催等	参加
4月24日	すまい・まちづくりトーク「これからの都市再生を考える」	国土交通省近畿地方整備局(後援)	110名
10月30日	「環境まちづくりフォーラムin大阪」 (都心部のエリアマネジメントの課題整理と、今後のあり方について提言。)	環境まちづくりフォーラム実行委員会(主催) 都市活力研究所(共催) 国土交通省、大阪市 他(後援)	259名
11月28日	研究交流セミナー・これからの郊外、住まいと鉄道「郊外はこれからどうなるか？」	都市住宅学会(共催)	76名

【その他事業】

産業とまちの活性化のために実施する公益事業をより有効なものとするための補助的事業

1. NPO 法人バイオグリッドセンター関西の運営支援

5月26日(土)の第9回総会およびバイオグリッド研究会開催をはじめ、事務局として、バイオ研究者や製薬企業・ICT・バイオ関連企業関係者の交流事業やプロジェクトメイキングの支援を行った。

2. 創薬バリューチェーン・プロジェクトの支援

コンピュータを活用した創薬の研究開発プロジェクトである創薬バリューチェーン・プロジェクトを引き続き推進し、肺がんや前立腺がんの抗がん剤の開発プロジェクトを支援した。

3. NEDO 講座の支援

東京大学・名古屋大学・大阪大学の 3 拠点が連携し、創薬に資する基盤技術に関して、人材育成を通し産業界に還元する目的で実施している蛋白質立体構造解析 NEDO 特別講座のホームページの運用に関する支援業務を行った。

4. IT Keys 等の運営支援

4 企業・9 団体が連携し、最先端のソフトウェア工学の研究を行う IT-Spiral、ならびに情報セキュリティ分野で実践的人材育成を行う IT-Keys の運営に関する支援を行った。

【法人管理】

公益法人としての適正な運営

理事会を 3 回、評議員会を 1 回開催し、公益法人として適法運営に努めた。また、不稼働資産であったインターネット IP アドレスを売却した。

<理事会・評議員会等>

会議名	開催日	議案	
6 回理事会	2012 年 6 月 4 日	1	2011 年度事業報告書並びに決算報告書承認の件
		2	2011 年度事業報告等に係る定期提出書類提出の件
		3	定款変更の件
		4	評議員候補者 3 名選出の件
		5	第 3 回評議員会招集の件
		報告	業務執行状況報告
3 回評議員会	2012 年 6 月 25 日	1	2011 年度決算報告書承認の件
		2	定款変更の件
		3	理事 2 名選任の件
		報告	業務執行状況報告
7 回理事会	2012 年 11 月 26 日	報告	業務執行状況報告
8 回理事会	2013 年 3 月 11 日	1	2013 年度事業計画書並びに収支予算書承認の件
		2	事務所移転の件